ブラジルの金融市場動向　Weekly Report

2017年6月5日

【2017年5月27日～2017年6月2日までの推移】

【1】先週の回顧

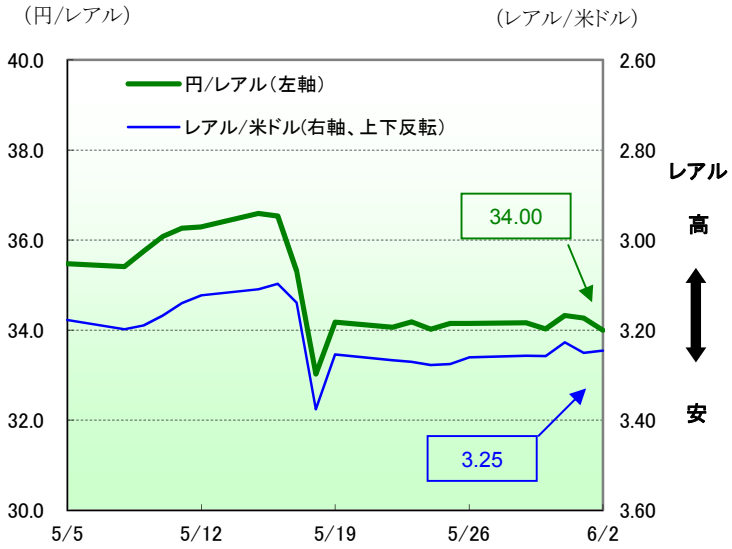
先週レアルは、対円では下落しましたが、対米ドルでは上昇しました。2年国債金利は上昇しました。

ブラジル中央銀行は5月31日（現地）、政策金利を1.00%ポイント引き下げ、10.25%とすることを決定しました。利下げの決定は全会一致で行われました。

中央銀行は、景気回復の兆しを示し始めていたブラジル経済にとって、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑に端を発した政治危機によって生じた不透明感が、主要なリスクになっていると指摘しています。

また、テメル政権の存続が危ぶまれ、財政再建を含む構造改革が頓挫するとの懸念が高まるなか、次回以降のCOPOM（金融政策委員会）では、緩和ペースを鈍らせる用意があると、中央銀行は表明しています。これを受けて金利は上昇しました。

【ブラジル・レアル　為替推移】(2017年5月5日～2017年6月2日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

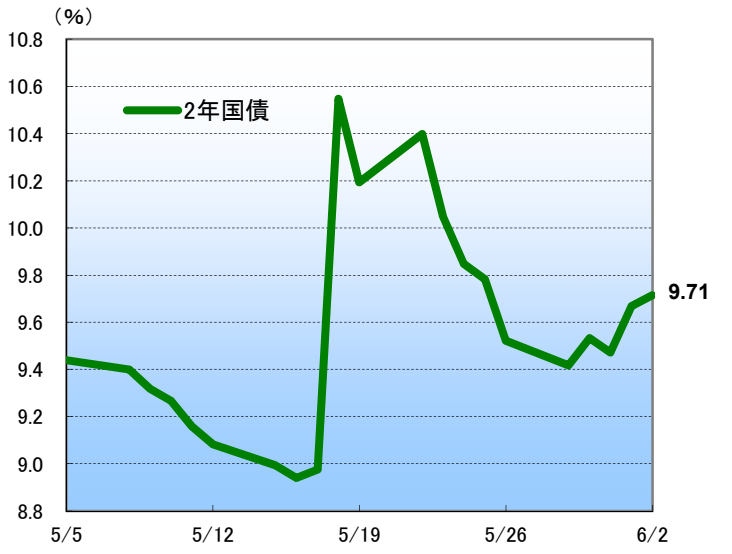
今週は、インフレ率などの経済指標が発表されます。インフレ率の上昇は抑制されることが見込まれています。

6月上旬には年金改革を含む社会保障改革法案の審議が行われる予定になっています。また、選挙裁判所により2014年の大統領選挙が無効であったかの判断が発表される可能性があります。

一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求しているほか、連立政権を組む一部の政党が連立を離脱する動きがみられます。政局は不透明となっており、今後の進展を見守る必要があると考えています。

しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、ブラジル・レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル　金利推移】(2017年5月5日～2017年6月2日)



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託　フリーダイヤル　0120-106212（営業日の9:00～17:00）　HP　http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management